

令和 4 年度（第 27 期）定期総会

議 案 書



日 時：2022 年 3 月 6 日（日） 13：30 より

（13：00 受付開始）

場 所：湖北台近隣センター

岳人あびこ

岳人あびこ 令和4年度（第27期）定期総会次第

（2022年3月～2023年2月）

日時：2022年3月6日（日） 13：30～

場所：湖北台近隣センター ホール

議事・議案：

13：00～ 受付開始（会費納入） 会場設営

13：30～ 開会

※県連永年表彰

総会議長・書記選出

総会成立要件確認

（会員総数 名、出席者 名、委任状 名、計 名）

会長挨拶

総会議案

1号議案 第26期活動報告

2号議案 第26期会計報告

※1号、2号議案質疑応答・採決

3号議案 第27期役員、監事ならびに新リーダーの選出

※3号議案質疑応答・採決

4号議案 第27期活動方針

5号議案 第27期予算

※4号、5号議案質疑応答・採決

6号議案 会則の一部変更

※6号議案質疑応答・採決及びその他全体討議・質疑応答

※報告 2022年度労山・県連活動計画

総会議事終了、議長解任

※ 新役員、新リーダー、新入会員の紹介

※ 会長挨拶

15：30 閉会

27期 第一回定例集会

15：40～

1 号議案

令和 3 年度（第 26 期） 岳人あびこ活動実績

スローガン：全会員の意見を基に活発な会運営と 25 周年記念行事を成功させよう

令和 3 年度は総会終了後から 25 周年記念行事に取り組み、全員参加ですべての行事を成功裡に収めました。前年度から取り組んでいるワーキンググループで会員の相互の意見や能力を発揮できる場をコロナ禍で培った成果と言えます。

活発な山行と質の向上

- (1) 参加者全員で役割を分担し、自立するグループ登山を目指し実施しました。
- (2) 目標の山に向けて各自のトレーニング・技術の研鑽と感染対策を徹底しました。
- (3) リーダー間・会員間の技術の伝達と情報の共有を継続します。
- (4) 必要や希望に応じた個人山行の報告を機関紙やまたんへ掲載しました。

1. 登山知識・技術の向上

- (1) 計画的な教育研修（机上）の実施し、できる限りの実技研修を行いました。
- (2) 初級リーダー研修は実施しました。
- (3) 毎月、新人教育を実施しました。

2. 安全登山と事故防止

- (1) ヒヤリハット・インシデント報告書を検証し、安全登山を確認しました。
- (2) リーダー・サブリーダーの具体的な役割の確認し、今後周知します。
- (3) 山のグレーディングの見直し・科学に基づいた基礎知識の習得を継続します。
- (4) 会則・山行規定・マイカーマニュアル・公開登山ガイドラインを見直しました。

3. 会活動の活性化

- (1) 会員・会友の総力で 25 周年記念行事は素晴らしい成功裡に終了できました。
- (2) WG の総括をして新人 L 研修、会則、山行規定、マニュアル等改定しました。
- (3) やまたん編集に 2 名の新人が参加し、負担軽減へ寄与されました。
- (4) ホームページ機能の共有と会員間での活用が活発になりました。
- (5) 継続して会員のアイデアや意見を会運営に反映し、担当者の裁量を重視します。
- (6) 対面会議に加え、リモートを活用したコロナ 5 波の緊急事態への対応ができました。

5. 登山を通して市民交流と安全登山の啓発

- (1) コロナ禍で入会希望者を対象にした「公開登山」は実施できませんでした。
- (2) ホームページを更新し、会員コーナーを活用しました。

6. 県連や他の山岳団体との交流

- (1) 県連理事会、各種委員会へ参加しました。
- (2) 県連雪上訓練、遭難対策研修会に参加しました。
- (3) その他の外部研修会への参加は今後継続します。

令和3年度(第26期)定例・準定例山行実績

2022年2月28日現在

NO	山行 番号	日程	山 名	山 域	形式	目 的	G	リーダー (企画)	参加 会員	会 友
1	1165	3/27 (土)	棚横手山～甲州高尾山	中央線沿線	日帰り	桃源郷を愛でる	1A	郷田	14	
2	1166	4/4 (日)	神峰山～羽黒山 ～鞍掛山	常陸	日帰り	新緑&サクラを楽しむ	2A	藤家	10	
3	1167	4/4 (日)	筑波山	筑波	日帰り	初めてリーダーなる方への実 地研修	1A	矢野貞	14	
4	1168	4/10 (土)	愛宕山／岩間山		日帰り	(延期された卒業山行)	1A	細谷	5	
5	1169	4/11 (日)	宝篋山～小町山～千代田ア ルプス	東筑波	日帰り	身近な低山縦走	2A	大畠	26	2
6	1170	4/14 (水)	裏筑波	常陸	日帰り	カタクリ・ニリンソウ	1A	秋山	12	
11	1171	5/7-9 (金-日)	地藏岳～切合小屋	飯豊連峰	避難小 屋泊	残雪期の飯豊連峰を堪能する	5D	白崎	3	
12	1172	6/2 (水)	戦場ヶ原	日光	日帰り	戦場ヶ原を彩るズミの花を愛 でる	1A	小野	7	
13	1173	6/5 (土)	白毛門	谷川連峰	日帰り	一ノ倉沢等谷川岳東壁を望む 展望の山へ	2A	小島徹	3	
14	1174	6/22 (火)	平標山	谷川連峰	日帰り	花畑を楽しむ	2B	高橋芳	16	
15	1175	7/8-12 (木-月)	トムラウシ山・後方羊蹄山(蝦 夷富士)	北海道	小屋泊	北海道の雄大な自然を堪能す る	4B	佐藤	6	
16	1176	7/16-17 (金土)	焼石岳	焼石神室 連峰	小屋泊	日本二百名山に登る 花の山を楽しむ	2B	北田	8	
17	1177	7/16-17 (金土)	苗場山	三国山脈	小屋泊	山頂に広がる湿原と点在する 池塘を楽しむ	2B	村越	3	
18	1178	7/29-8/2 (木-火)	蝶ヶ岳～常念岳～大天井岳 ～槍ヶ岳	北アルプス	小屋泊	アルプスの表銀座をのんびり 歩く	3C	矢野貞	3	
19	1179	10/6-7 (水木)	燧ヶ岳	尾瀬	小屋泊	尾瀬の草紅葉と百名山	2B	秋山	6	
20	1180	10/9 (土)	神峰山～高鈴山～助川山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.3)	2A	北田	9	1
21	1181	10/16 (土)	宝篋山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.1)	1A	高橋芳 (SL川村)	8	3
22	1182	10/16 (土)	八溝山～池ノ平～高笹山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.2)	2A	小島徹	9	
23	1183	10/23 (土)	生瀬富士～月居山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.4)	2B	森岡	12	
24	1184	10/24 (日)	愛宕山～難台山～吾国山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.5)	2A	藤家	9	
25	1185	10/30-31 (金土)	横尾山・金峰山・瑞牆山	奥秩父	テント泊	川上村の山を歩く集中登山	2B	室崎	5	
26	1186	10/30 (土)	三鉢室山～妙見山～前室山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.6)	2B	大畠(SL 田村)	10	

NO	山行 番号	日程	山 名	山 域	形式	目 的	G	リーダー (企画)	参加 会員	会 友
27	1187	11/3-5 (水金)	八十里越え	越後山脈	テント泊 &民泊	紅葉の八十里越え古道を歩く	3C	白崎	7	
28	1188	11/6 (土)	筑波山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.7)	1A	郷田	3	1
29	1189	11/6 (土)	豎破山～土岳		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.8)	1A	大平	18	2
30	1190	11/10 (水)	白木山～高崎山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行No.11- A)	2B	矢野貞	12	
31	1191	11/12-13 (金土)	花園山奥の院・和 尚山、栄 蔵室～花 園山		テント泊	茨城の山を歩こう (記念山行 No.10)	1B	武内(SL 白崎)	11	
32	1192	11/13 (土)	加波山～丸山～足尾山～き のこ山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.9)	1A	大畠	16	
33	1193	11/22 (月)	上山湯沢峡～竈岩		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.11-B)	2C	矢野貞	5	
34	1194	11/27 (土)	仏頂山～高峯山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.13)	2A	佐藤	14	1
35	1195	12/4 (土)	御嶽山～雨引山～燕山～加 波山		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.14)	2A	本田	18	2
36	1196	12/11 (土)	小町山～朝日峠展望公園～ 雪入山～黒文字平		日帰り	茨城の山を歩こう (記念山行 No.15)	2A	土田	20	
37	1197	12/18 (土)	岩茸石山～棒ノ折山	奥多摩	日帰り	奥多摩から奥武蔵への縦走	2A	小島徹	9	
38	1198	12/18 (土)	鎌倉アルプス	鎌倉周辺	日帰り	鎌倉の社寺で1年の納を行う 年の暮れをゆっくりと過ごし 来年の健康と幸を祈る	1A	高橋芳 (飯塚)	4	
									335	12

計 39 回

参加者数 (延べ) 335 名

令和3年度 教育研修実績(案)

目的 (自立した登山者として、安全で楽しい山登りを目指そう)

1. 机上研修・・・(講義20:00～20:45)

実施日	研修場所	対象者	研修内容	講師
3月 7日	総会・定例会	新人	新人の自己紹介、オリエンテーション	全 員
4月 7日	定例会	会員	事故事例から学ぶ山の安全対策(リモート)	武内
5月	定例会	会員	山行に向けて地形図を知る(スマホアプリも)(中止)	矢澤
6月	定例会	会員	登山の基礎 (中止)	郷田
7月 6日	定例会	会員	登山時にバテないために	外崎
9月 7日	定例会	会員	緊急時の対応 (法的対応)	深草
10月 5日	定例会	会員	悲喜こもごもの登山添乗17年(8月予定を延期)	大平
10月 5日	定例会	会員	山へ行くため、出発までの準備について(中止)	矢野貞
11月 2日	定例会	会員	コロナ対策について	室崎
12月 7日	定例会	会員	「10 Tips for enjoying photography」 -写真を楽しむための10のヒント	白崎
1月 5日	定例会	会員	植物を楽しむ3 「植物の色素アントシアニン」	小野
2月 1日	定例会	会員	一年を振り返って(グループ討議)(中止)	総務部

2. 実技研修・・・講師(リーダー)は定例会・山行報告の中で講習内容を報告する

実施月	山 名	対象者	研修内容	講師
3月27日	棚横手山	会員	地図読み	郷田
4月11日	宝篋山～小町山～千代田アルプス	会員	長い距離を疲れなくて歩く	大畠
4月15日	裏筑波	会員	筑波山を知る	秋山
5月	三頭山	会員	新緑を楽しむ (中止)	中村育
7月16日	焼石岳	会員	日本二百名山に登る。花の山を楽しむ	北田
8月8日～10日	蝶ヶ岳	会員	テント泊、自炊の実践	白崎
9月28日～10月1日	八甲田山・岩木山	会員	錦秋の東北の山に登る (個人山行に変更)	佐藤
10月	高畑山～倉岳山	会員	大月市秀峰富岳12景の山を歩く(来年度に延期)	蟹江
11月	笹尾根	会員	紅葉の山歩きと展望 (来年度に延期)	本田
12月18日	源氏山	会員	大仏ハイキングコースを歩く(1月の予定を早める)	高橋芳
12月	仏果山	会員	陽だまり山行 (スマホの地図アプリ実施) (中止)	矢野貞
2月	新人卒業山行 高麗山	会員	新人による山行計画と山行の実施 (中止)	新 人

令和3年度 新人教育研修 報告

毎月定例集会の前（第一水曜日）18：20～18：50

場所：アビスタ、我孫子北近隣センター並木本館

Zoom会議

新人担当：大平・外崎

実施日	内 容	担当者
3/7（日）	新人オリエンテーション（入会案内・登山のマナーと団体行動、当会の会則・山行規定の説明）	大平・外崎
4/6（火）	登山の服装と装備（無雪期）、ザックのパッキングの仕方 ⇒服装・装備は目的、状況に応じて変わる	大畠
5/12（水）	疲れない山の歩き方、ストックの使い方と扱い方 ⇒歩き方の基本について学ぶ	村越
6/1（火）	山行計画の立て方 ⇒①山行計画書はなぜ必要か。 ②計画書作りのポイント	大平・外崎
7/6（火）	山行計画書作成の練習 ⇒行先は筑波山。交通機関・コースは自由とした	新人 大平・外崎
8/	研修なし	
9/7（火）	山行中の食料と水の飲み方 ⇒エネルギー補給と水分補給の重要性について学ぶ	桐生
10/5（火）	地形図の読み方 ⇒紙地図とコンパス、GPSの併用がベスト	矢野裕
11/2（火）	山の天気 ⇒山の天気の特徴を学ぶ	大平
12/7（火）	事故発生時の緊急連絡の仕方 ⇒先ず、あわてない・指示する・判断する	佐藤
1/5（水）	山小屋とテント生活の基本 ⇒テントの設営・撤収の仕方、山小屋のマナーなどを学ぶ	斎田
2/1（火）	山での怪我・事故の応急手当 ⇒今持っている物品を最大限に利用する。日頃の訓練が必要	外崎
2/16（水）	卒業山行（テントを設営し食事を作る） 高麗山（大磯町） ⇒コロナ蔓延防止措置の延長のため、卒業山行も延長とした	新人 大平・外崎

総務部 令和3年度(第26期)活動報告

1. 会員の年齢構成(R4/2/28現在)

(退会会員除く)

年齢	男	女	計	%
70歳以上	12	17	29	55.8
65～69	4	5	9	17.3
60～64	2	4	6	11.5
55～59	5	2	7	13.5
50～54	0	1	1	1.9
45～49	0	0	0	0
40～44	0	0	0	0
39歳以下	0	0	0	0
計	23	29	52	100
平均年齢	69.2	68.4	68.4	

2. 会員異動状況(R4/2/28現在)

	男	女	計
R3/2/10 現在 会員	23	29	52
会友	1	2	3
退会者(会員)	1	2	3
退会者(会友)	0	0	0
会員から会友へ	1	2	3
会友から会員へ	0	0	0
入会(新年度)	1	4	5
入会(期中)	1	0	1
R4/2/10 現在 会員	23	29	52
会友	2	4	6

3. 定例集会出席状況(会員ののみ)

月日	3月 7日	4月 6日	5月 12日	6月 2日	7月 6日	8月 3日	9月 7日	10月 5日	11月 2日	12月 7日	1月 5日	2月 1日
曜日	日曜	火曜	水曜	火曜	火曜	火曜	火曜	火曜	火曜	火曜	水曜	火曜
場所	湖北台	近隣センター(並木本館)	Zoomにて開催	Zoomにて開催	近隣センター(並木本館)	Zoomにて開催	Zoomにて開催	近隣センター(並木本館)	近隣センター(並木本館)	近隣センター(並木本館)	アビスタ	近隣センター(並木本館)
出席数	48	42	48	45	50	42	44	46	44	47	41	45
出席率	88.9	77.8	88.9	81.8	90.9	76.3	80	83.6	80	85.4	74.5	86.5
会員数	54	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	52

年間出席者延人数 : 542 人 平均出席率 : 82.7%

4. 運営委員会で取り上げた主な事項

(運営委員会 12 回実施、Zoom を含む)

- ・3月7日に第26回定期総会を開催し、高橋会長の活動方針のもとスタート。
- ・スローガン「全会員の意見を基に活発な会運営と25周年記念行事を成功させよう。」
- ・コロナ禍ではあったが、定例会及び運営委員会は緊急事態宣言中も中止することなく、Zoomを活用してリモートで実施した。
- ・感染が拡大している時期は定例山行は中止、または個人山行に切り替えて実施した。
- ・7月臨時総会にてマイカー利用山行マニュアルの修正承認を得る。
- ・25周年記念行事として記念山行、記念品(オリジナルTシャツ)、記念イベント実施へ参画サポート実施。
- ・山行規定、会則の修正案取りまとめ実施し山行規定改定(運営委員会)、会則改定(総会)へ提示。

1. やまたん発行実績

月号	山行計画	山行報告	その他の主な内容	頁数	編集担当
3月	7	0	私のお気に入り写真掲載	15	矢野貞
4月	10	1	第26回総会報告・寄稿	18	中村育
5月	7	6	寄稿	22	↓
6月	1	1	労山カレンダー写真募集・Facebook開設案内	12	郷田
7月	6	3	マイカー利用山行利用マニュアル一部変更 記念Tシャツ注文案内	15	↓
8月	6	3	「写真展&カレンダー作成」写真募集 やまなみ原稿について	19	矢野貞
9月	17	3	25周年記念山行案内、新人紹介	24	↓
10月	4	1	25周年記念イベント・労山カレンダー申込み	15	細谷
11月	1	8	25周年記念山行開始	24	↓
12月	2	10	「写真展」写真募集	32	吉川
1月	5	5	25周年記念山行報告	20	↓
2月	1	0	創立25周年特集・労山基金申込案内	14	中村育

2. やまなみ発行実績

やまなみ第18号発行

(1) 対象期間：平成31年度(令和元年)・令和年2度(2019年3月～2021年3月)

(2) 内容

①山行：平成31年度分 定例・準定例：44山行

令和2年度分 定例・準定例：20山行

個人山行の寄稿

②巻末資料：山行実績・活動の記録

③その他：「発刊に寄せて」

(3) 図柄

表紙：上州武尊山のやまたんより転写

写真：令和初の岳人祭・岳人あびこ富嶽集

(4) ページ数：155ページ

(5) 印刷冊数：70冊

(6) 編集担当：中村育子 林 敏生 矢野裕子 矢野朝水 富井 容 千葉有子 矢野貞子

(7) 印刷所：太平洋印刷所(株) 我孫子市中峠1538

(8) 寄贈 公共施設：我孫子市民図書館アピスタ・同布佐分館・柏市立図書館

法人：労山本部・同県連・我孫子市教育委員会体育課

3. ホームページ

会員専用ページの充実

・やまたん掲載(やまたん2021年1月号～)

・やまなみ掲載(やまなみ10号～やまなみ18号)

装備品リスト一覧表 (令和4年2月28日現在)

種類	品名・型式	数量	付属品
テント類	7人用テント(ひさこ)スーパーライト	1張	フライシート、ポール、ペグ、アンダーシート6.9kg
	3人用テント エアライズ3 2021	1張	フライシート、ポール、ペグ、 2.2kg
	4人用テント(冬用)平成18年度購入	1張	ポール、ペグ、2.6kg
	2人用ツェルト	1張	ポール付き 830g
	2人用ツェルト	2張	460g、430g
	マット 大(150×200)	2枚	
	マット 小(100×200)	5枚	
	タープ	1張	4.0kg
コップェル	新アルミLL	1組	ヤカン1.4ℓ、お玉、しゃもじ、コップェル2個組
	L型	2組	ヤカン0.9ℓ、お玉、しゃもじ、コップェル2個組
ガスコンロ	プリムス P-123S	1組	300g(平成17年度 買換え・30年修理)
	プリムス P-123S(分離型低重心)	1組	300g(平成19年度 新規購入)
	ユニバーサル S1020 大	1組	550g
ランタン	プリムス IP2245 旧	1組	300g(平成29年度修理)
	プリムス IP2245 新	1組	300g(平成17年度 新規購入)
	電池式	1ヶ	平成22年度 新規購入
会の旗	大 1、小 2	3枚	
救急パック	軽量型	5セット	300g～400g
内容	○傷の手当	マキロン、救急絆創膏、滅菌パッド(数種類)、滅菌ガーゼ	
	○捻挫・骨折	パテックス、テーピング	
	○その他	ポリ手袋、ガーゼ、三角巾、救急シート、ハサミ	
その他	シュラフ(スリーシーズン用)	2ヶ	
	補助ザイル 8mm×20M	4本	内2本はエバードライ、0.63kgと1.1kg
	カラビナ、安全環付き(3ヶ)	3ヶ	
	エイト環(シモン／エイト環カラー)	2ヶ	
	シュリング	2本	
	フラッグポール	15本	
	鍋〈大〉1、〈中〉1	2個	
	ヘルメット	2ヶ	
	ハーネス(DMMアルパインハーネス)	3ヶ	
	ワカン(アルミワカン)	3ヶ	
	ピッケル	3本	
	ブルーシート 6畳サイズ	4枚	
	ショベル(ポリカーボネイト製)	2本	新1本、旧1本
	ゲスト参加用名札	70ヶ	
	千葉労山 エコ腕章	9枚	
	歌集	30冊	
	充電器	1ヶ	平成29年購入
	ラジオ	1個	
	アイゼン(10本爪)	1個	石垣さんより

※4人用テント(#3)、4人用テント(#6)、2人用テント(#5) の3張は経年劣化により令和4年1月10日に処分致しました。

岳人文庫所有目録

2022 年 2 月 28 日 現在

管理者 教育研修委員

岳人文庫担当 大山

1. 書籍

番号	書籍名	著者	出版社
1	関東・越後の避難小屋	高橋信一	(有) 随想舎
2	中高年登山トラブル防止小事典	堀川虎男	(株) 大月書店
3	山がくれた百のよろこび	(株) 山と溪谷社編	(株) 山と溪谷社
4	山の遭難	羽根田 治	平凡社新書

	タイトル名	メディア	編者等	製作
1	山の歩き方 (ビデオ登山学校第 2 巻)	DVD		山と溪谷社
2	山で遭難しないために (ビデオ登山学校第 4 巻)	DVD		山と溪谷社
3	雪山を楽しむ (ビデオ登山学校第 6 巻)	DVD		山と溪谷社
4	ブナの巨木の精霊たち	DVD	坪田和人	廣済堂出版
6	ブナ林の表情	DVD	坪田和人	廣済堂出版
6	山の気象と地図の読み方 (中高年のための登山学)	DVD	岩崎元郎	山と溪谷社
7	一般登山のセルフレスキュー A B C	DVD		山と溪谷社
8	美しき日本の山々 (映像と音楽)	B D		N H K
9	深田久弥の日本百名山	B D		山と溪谷社
10	花の百名山	B D		山と溪谷社

2. カシミール 3D (地形図ソフト)

プログラムインストールソフト (地形図データ含む)

D V D

解説本 入門編

解説本 応用編

1. 理事会（担当 深草 茂美）

岳人あびこの理事として理事会に参加した。また県連組織委員会の要請により当会の活動状況を集計し報告した。

- ・理事会開催実績 1 回/月 19：00-21:00 Zoom 会議 11 回、対面 1 回
- ・集計報告 2021 年度「会員構成・運営方法・年間山行実施状況」

2. ハイキング委員会（担当 小島 洋子）

岳人あびこ代表のハイキング委員としてとして委員会に参加。下記のハイキングを計画したが、まんえん防止等重点処置適用により中止しとなった。

- ・1 月 29 日（土）房総ロングハイク（関東ふれあいの道千葉 17：浪花駅～御宿駅）

3. 自然保護（担当 小野 泰子）

県連の自然保護活動に協力する為、手賀沼クリーンハイクを 10 月 17 日実施で計画したが、雨天により中止した。

4. 事故報告

- ・報告事故 10 月 07 日燧ヶ岳骨折事故（基金給付金はリハビリ終了後請求予定）。

5. 文書・写真投稿

文書及び写真の投稿を、労山・県連に 5 件行った。

- ・文書 ちばニュース 5 月号 宝篋山～小町山～千代田アルプス山行記 深草
- ちばニュース 2 月号 岳人あびこ・25 周年報告 高橋会長
- ・写真 ちばニュース 5 月号表紙 筑波山 白崎さん
- ちばニュース 2 月号表紙 25 周年集合写真 白崎さん
- 労山 2022 年カレンダー 3 月 北ア 5 竜岳 遠見尾根 白崎さん

6. 交流会・講習会参加

労山・県連主催の講習会・交流会に延べ 29 名の会員が参加した。

- ・県連 4 月 3 日 雪上技術講習会 1 名
- 11 月 6 日 事故防止経験交流集会 2 名
- 1 回/月（9-12 月） コロナ禍の山行（Zoom） 延べ 14 名
- ・労山 6 月 26 日/11 月 27 日 全国ハイキング活動者会議（Zoom） 延べ 2 名
- 1 回/月（6-10 月） 全国登山研究集会課題別講演会（Zoom） 延べ 10 名

7. 労山 2022 年カレンダー 16 名の会員が購入した。

8. その他の活動

- ・「25 周年を祝う会」に県連会長及び理事長を来賓として招待した。
- ・県連の要請に応じ来年度県連役員副会計を外崎蓮さんが担当する事となった。
- ・以下の方々の労山「全国永年会員章の表彰」を申請した。

箕輪完二さん、千葉有子さん

-以上-

令和3年度(26期) 会計報告 及び 会計監査報告

1. 一般会計

総 収 入		1,271,125
内 訳 (詳細は会計内訳の通り)	前年度繰越金	397,371
	会費・入会金	540,750
	その他の収入	3,004
	積立金取り崩し金	330,000
総 支 出		714,027
内 訳 (詳細は会計内訳の通り)	運営費	45,132
	会報費	192,010
	行事費	198,200
	装備費	47,868
	県連	180,817
	予備費	0
	積立金	50,000
次年度繰越金		557,098

2. 積立金会計

総 合 計 (R2年度残金 719,355円)		▲ 279,995
内 訳	記念行事	▲ 150,000
	遭難対策	0
	やまなみ発行	▲ 100,000
	共同装備品	▲ 30,000
	積立口座利息	5
次年度繰越金		439,360

以上会計報告をいたします。

令和4年2月28日

会計

郷田 進 

監査の結果、適正であることを認めます。

令和4年2月28日

監事

大島 清江 

監事

土田 義二 

令和3年度(第26期) 会計内訳

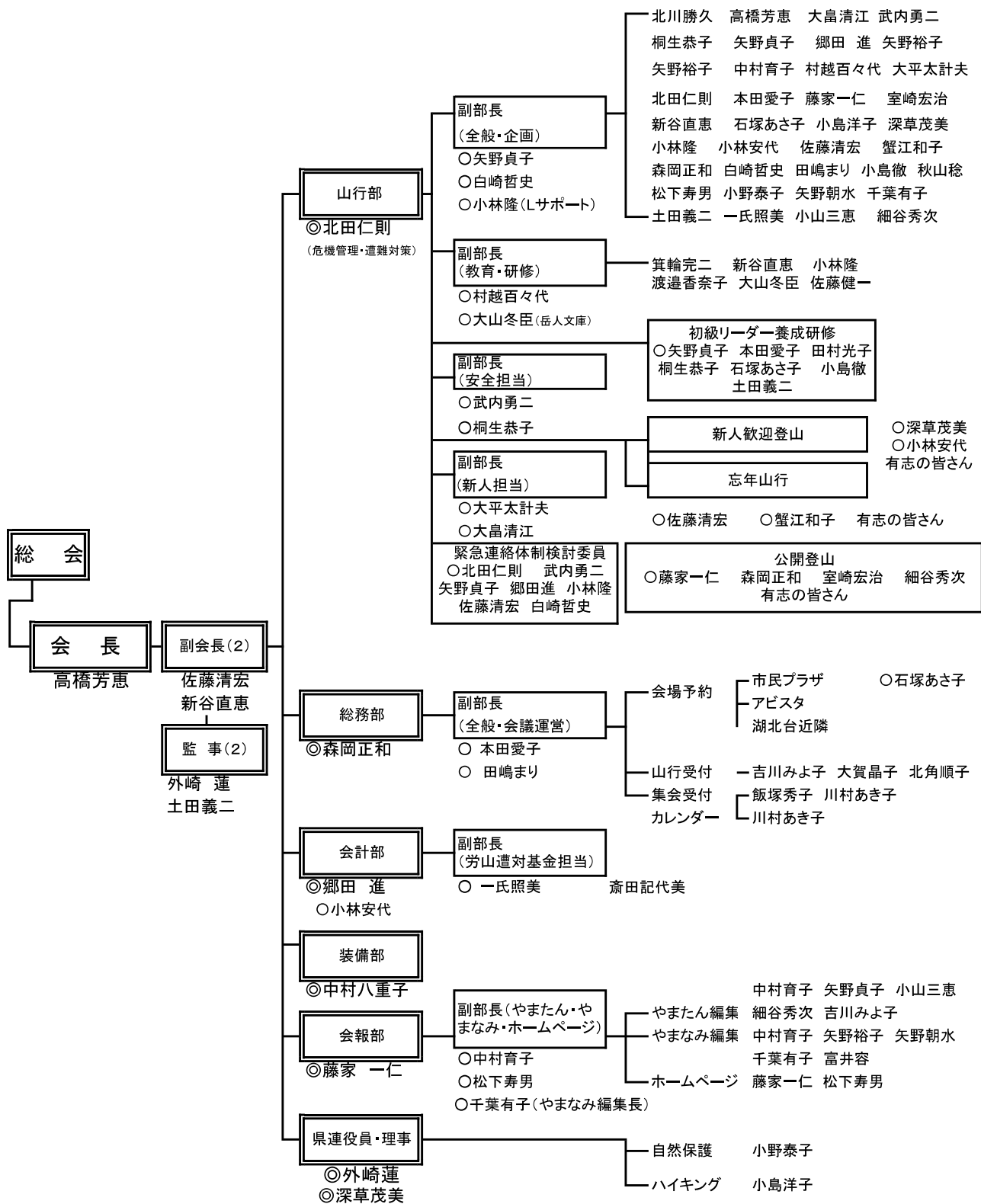
1. 一般会計

令和4年2月28日現在

区分			令和3年度	令和3年度	増減	備 考
			予算	実績		
収入の部	前年度繰越金		397,371	397,371	0	
	会費	会員会費	450,000	492,750	42,750	9,000×54名+6750
		会友会費	10,000	30,000	20,000	5000×6名
		入会金	0	18,000	18,000	3,000×6名
		小計	460,000	540,750	80,750	
	その他収入	ゲスト参加	0	3,000	3,000	1,000×3名
		行事山行等余剰金	0	0	0	
		その他	0	4	4	一般会計利息
		小計	0	3,004	3,004	
	積立金取り崩し金(やまなみ分)		100,000	100,000		
積立金取り崩し金(記念行事分)		180,000	180,000	0		
積立金取り崩し金(共同装備分)		50,000	50,000	0		
収入合計		1,037,371	1,271,125	233,754		
支出の部	運営費	会場使用料	21,000	22,000	1,000	市民プラザ・アビスタ他
		ZOOM利用料	21,000	0	△ 21,000	
		総会費	33,000	24,838	△ 8,162	懇親会費、会場代
		募集広告費	3,000	0	△ 3,000	
		ゲスト保険代振込手数料	0	▲ 1,836	1,836	R2年3千円仮払い残金
		事務費・雑費等	3,000	130	△ 2,870	コピー代
		小計	81,000	45,132	△ 35,868	
	会報費	やまたん発行・発送	0	0	0	
		やまなみ発行・発送	200,000	173,410	△ 26,590	印刷代、配達送料
		ホームページ回線利用料	19,000	18,600	△ 400	
		小計	219,000	192,010	△ 26,990	
	行事費	25周年イベント	180,000	180,000	0	
		行事山行(新人歓迎・忘年)	30,000	0	△ 30,000	中止
					0	
		公開登山	12,000	0	△ 12,000	中止
		教育研修費	20,000	18,200	△ 1,800	テキスト代
		小計	242,000	198,200	△ 43,800	
	装備費	共同装備等購入費	50,000	44,972	△ 5,028	テント代
		装備補修費・消耗品費	20,000	2,896	△ 17,104	薬代
		小計	70,000	47,868	△ 22,132	
	県連	連盟費分担金	190,000	176,817	△ 13,183	3600×(48名+1)+手数料
		総会等参加交通費	10000	4,000	△ 6,000	
		小計	200,000	180,817	△ 19,183	
	予備費		20,000	0	△ 20,000	
	積立金	記念行事	30,000	30,000	0	30周年記念行事
		遭難対策費	0		0	
		やまなみ発行費	0		0	
		共同装備品	20,000	20,000	0	
		小計	50,000	50,000	0	
支出合計		1,062,000	714,027	△ 347,973		
次年度繰越金		▲ 24,629	557,098	581,727		

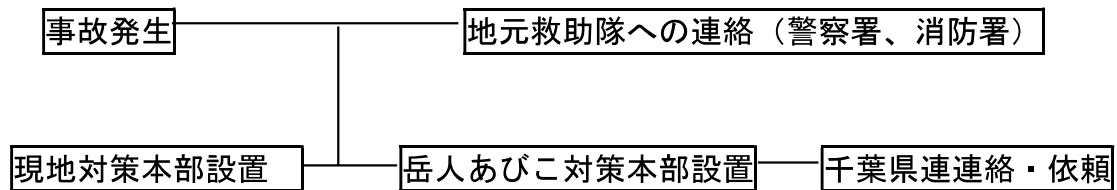
2. 積立会計

区 分 (R2年度残金: 719,355円)		令和3年度 予算	令和3年度 実績	増減	次年度への繰越金 (439,360円)
内訳	記念行事(182,575円)	△ 150,000	△ 150,000	0	(32,575円)
	遭難対策(346,634円)	0	0	0	(346,634円)
	やまなみ積立(100,000円)	△ 100,000	△ 100,000	0	(0円)
	共同装備品(90,000円)	△ 30,000	△ 30,000	0	(60,000円)
	その他(146円)	0	5	5	(151円)



(注)運営委員会は、会長、副会長、部長(◎印)、副部長(○)で構成

岳人あびこ緊急連絡体制



岳人あびこ緊急連絡網

① 高橋芳恵	090-6033-4610	⑥ 佐藤清宏	080-3696-5326
② 北田仁則	080-5181-9818	⑦ 新谷直恵	080-3736-0030
③ 矢野貞子	090-1619-2263	⑧ 森岡正和	080-1324-9520
④ 白崎哲史	090-1669-7851	⑨ 郷田 進	080-6611-5266
⑤ 小林 隆	090-8455-0488	⑩ 室崎宏治	080-4131-0850

その他連絡あり次第、全員が協力する。番号は連絡順で、留守の場合は次の人に連絡する。
 先般配布しているリーダー部員の携帯番号表も活用の事

事故発生

- ⇒ 1. 二次遭難を防ぐための処置をする。
 2. **自力で下山できるか判断**
 3. **出来ない場合**⇒地元警察へ連絡。(携帯電話、山小屋、伝令等)
 その他近くのパーティーへの救助依頼
 その時、必ず下記の事項をメモ書きして置く。

日時 場所 パーティー名 代表(リーダー名)
 事故者の状況説明 ヘリ、救急車の有無
 事故発生箇所周辺の状況 近くの目印・岩場・樹林帯・沢・GPS の座標値) 天候 風等

4. 所属団体への一報⇒留守宅本部を通して出来る限り上記内容を伝える。
 又、その際応援・救助・捜索⇒必要か、否か
 5. 連絡体制の確立 現地の所在と連絡手段

千葉県連絡体制

県連教育遭難対策委員会

itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

山行には必ず登山会員証を持参しよう！！

4 号議案

令和4年度(第 27 期) 岳人あびこ活動方針(案) スローガン:行きたい山から行ける山に・目標を持って質の高い登山を

岳人あびこは昨年創立 25 周年を迎え、さらに結束を高めています。創立当時の熱い志を引き継ぎながらも、会員の皆さんの活発な活動、運営へのご意見やアイデアで、次代に継続できる岳人あびこを創り上げていきましょう。

1. 活発な山行と質の向上

- (1) 全会員が行きたい山を企画し、計画・実施できる力量を持った主体的な登山
- (2) ハイグレードの山への挑戦から低山の楽しみまで会員各位の体力、目的に合わせた山行の実施
- (3) リーダー間におけるサポート体制の充実

2. 登山知識・技術の向上

- (1) 計画的な机上における教育研修と、実技研修（外部研修を含む）
- (2) 新人教育の実施
- (3) 初級リーダー研修の実施とリーダーグレードアップ研修の検討

3. 安全登山と事故防止

- (1) 事故、ヒヤリハット事例（他会の事例も含む）に基づく検証と検討
- (2) WG で協議した山のグレーディングを確認し、見直しを検討する。
- (3) 難易度の高い山行へのサポートと情報交換
- (4) 事故発生時の対応と緊急連絡体制の見直しを実施する。

4. 会活動の活性化

- (1) 一人一役以上の運営担当と会員相互の良好なコミュニケーション
- (2) 会員全員参加の定例会と教育研修の充実
- (3) 会員誰もが参加できるオープンな運営委員会・山行部会
- (4) 二年間実施できなかった新人歓迎・忘年山行を担当者だけでなく全員で支援
- (5) ホームページを通して会員間の情報（書式含）共有

5. 地域の登山愛好者との交流と安全登山情報を地域へ発信

- (1) 地域の入会希望者を対象にした「公開登山」の実施
- (2) ホームページから登山情報を発信し、登山の楽しさと安全登山を啓発

6 県連や他の山岳団体との交流

- (1) 県連理事会、各種委員会への参加
- (2) 県連行事、研修会への参加
- (3) その他の外部研修会への参加

令和4年度 教育研修計画(案)

目的 (自立した登山者として、安全で楽しい山登りを目指そう)

1. 机上研修・・・(講義20:00～20:45)

実施日	研修場所	対象者	研修内容	講師
3月6日	総会・定例集会	新人	新人の自己紹介、オリエンテーション	全員
4月5日	定例集会	会員	山に向けて地形図を知る	武内
5月10日	定例集会	会員	応急手当	外崎
6月7日	定例集会	会員	登山への備え一事前準備から道具選択	小林隆
7月5日	定例集会	会員	百名山って何？	大平
8月2日	定例集会	会員	DVDから学ぶ①(転倒防止対策)	深草・白崎
9月6日	定例集会	会員	DVDから学ぶ②(低山遭難事例の研究)	深草・白崎
10月4日	定例集会	会員	登山における注意義務とは？	白崎
11月1日	定例集会	会員	海外の山旅	外部講師 高橋重
12月6日	定例集会	会員	レスキュー	外部講師 倉持
1月4日	定例集会	会員	登山エクササイズ	小林安
2月7日	定例集会	会員	一年を振り返って(グループ討議)	総務部

2. 実技研修・・・理論で学んだことを山行で実践し、繰り返し学ぶ

実施月	山名	対象者	山行目的	講師
3月	倉岳山	会員	秀麗富嶽12景の富士山	蟹江
4月	桜山	会員	仲間の一員として歓迎 地図を持って	全員
5月	三つ峠～本社ヶ丸	会員	富士山の展望、テント泊	郷田
6月	社山	会員	日光の花	高橋芳
7月	飯豊山	会員	飯豊連峰縦走、小屋&山麓泊	佐藤清
8月	月山	会員	出羽三山主峰、花の百名山	石塚
9月	磐梯山	会員	いつかは登りたい	松下
10月	雨飾山	会員	女神に会いに山に行く	藤家
11月	笹尾根	会員	紅葉の尾根歩き	本田
12月	宝剣岳・木曾駒ヶ岳	会員	雪山登山	小林隆
1月	北八ヶ岳	会員	雪の八ヶ岳を歩く	村越
2月	新人卒業山行	会員	新人による山行計画と山行の実施	新人

研修項目:これ迄に机上研修で学んだ『・地図読み ・天気 ・(日帰り、小屋、テント泊等)装備

・疲れない歩き方 ・休憩や水分、行動食の取り方 ・岩稜帯の歩き方等 ・その他』

リーダーが決めて行い、山行報告の時に実技研修として行ったことについて報告する。

令和4年度 新人教育研修計画（案）

毎月定例集会の前（第一水曜日）18：20～18：50

場所：アビスタ、我孫子北近隣センター並木本館

新人担当：大平・大島

実施日	内 容	担当者
3/6（日）	新人オリエンテーション（入会案内・登山のマナーと団体行動、当会の会則・山行規定の説明）	大平・大島
4/5（火）	山の服装と装備（無雪期）、ザックのパッキングの仕方	大島
5/10（火）	山の歩き方、ストックの使い方と扱い方	中村育子
6/7（火）	山行計画の立て方	大平・大島
7/5（火）	山行計画書の作成練習（新人に計画書を作成してもらう）	新人 大平・大島
8/	研 修 な し	
9/6（火）	山行中の食料と水の飲み方	千葉
10/4（火）	地形図の読み方	矢野貞子
11/1（火）	山の天気を予測する	大平
12/6（火）	事故発生時の緊急連絡の仕方	佐藤清宏
1/4（水）	テント生活の基本（テントの設営、撤収、ガスを使用して調理）	武内
2/7（火）	山での怪我・事故の応急手当	外崎
2/?（土）	卒業山行（山行計画を立て、現地でテントを設営し食事を作る）	新人 大平・大島

令和4年度(第27期)定例山行計画(案)

2022年2月28日現在

NO	月	山名	山域	目的	形式	泊数	G	L	企画/提案
1	3/19-20 (土日)	四阿山	菅平	ヨーロッパアルプスに行った気分になる	山麓泊	1	3C	細谷	
2	3/26(土)	倉岳山	中央線沿線	秀麗富嶽 12 景の富士山	日帰り		2A	蟹江	
3	4/03(日)	桜山	西上州	新人歓迎山行	日帰り		1A	深草・小林安	
4	4/09(土)	高松山	丹沢	春の丹沢の山	日帰り		1A	田嶋	川村
5	4/11(月)	高峯山	茨木県	茨城の山桜	日帰り		1A	秋山	
6	4/13(水)	横川～碓氷峠	上州	中山道の難所碓氷峠を越える	日帰り		1A	矢野朝	
7	4/16(土)	雁が腹摺山～ 檜ノ木尾根	大菩薩連嶺	秀麗富士と静かな尾根歩き	日帰り		2B	千葉	
8	4/23(土)	奥久慈男体山 ～袋田の滝	奥久慈	岩稜と新緑 longhiking	日帰り		2B	村越	
9	4/29(金)	三頭山	奥多摩	ヌカザス尾根をの新緑	日帰り		2B	小林安	
10	5月	天城山	伊豆	新緑と天城のシャクナゲ	日帰り		2A	土田	
11	5月	大室山	丹沢	シロヤシオを訪ねる	日帰り		2B	高橋芳	
12	5/11-13 (水一金)	西赤石山(愛媛) ・三嶺(徳島)	四国	四国の名山と歴史	山麓泊	3	2B	千葉	
13	5月	三頭山～向山	奥多摩	新緑を楽しむ	日帰り		2A	中村育	
14	5月	荒船山	西上州	鱧岩の大展望と雑木林の尾根道	日帰り		1A	森岡	
15	5月	三つ峠～本社ヶ丸	御坂山系	富士山展望	テント泊	1	2B	郷田	
16	5月	西沢溪谷	中央線沿線	新緑と滝つぼ	日帰り		1A	小山	小山
17	5月	三原山(伊豆大島)	伊豆	島の山を登る	夜行日帰り		2A	小島洋	
18	5月	丹沢山	丹沢	新緑とシロヤシオ	小屋泊	1	2B	新谷	
19	5月	雲取山	奥秩父	新緑	小屋泊	1	2B	大畠	田村
20	5/23-26 (月一木)	アポイ岳・伊達紋別岳	北海道南部	高山植物の宝庫アポイ岳と花咲く伊達紋別岳	旅館泊	3	2B	大平	小野
21	6月	房総海岸線	房総	県連 ウィークデー山行	日帰り		1A	県連ハイキング 委	
22	6月	社山	日光	日光の花	日帰り		2A	高橋芳	
23	6月	守門岳	越後	残雪の越後の山	山麓泊	1	2B	北田	
24	6月	天狗角力取山～障子ヶ岳	朝日連峰	新緑	避難小屋	1～2	2B	武内	
25	7/2-3(土日)	浅草岳	上越	ヒメサユリ鑑賞	山麓泊	1	2B	小林隆	
26	7月	飯豊山	飯豊連峰	飯豊連峰縦走	小屋&山	4	3B	佐藤清	
27	7月	折立～新穂高	北アルプス	雲の上の縦走路	テント泊	3～4	3C	白崎	
28	7月	白峰三山(北岳、間ノ岳、農鳥岳)	南アルプス	3000m 峰パノラマ散歩	テント or 小屋泊	3～4	3C	郷田	小島徹
29	7月	白山	白山	黒百合などの高山植物	小屋泊	2	2B	小林安	
30	7月	霞沢岳	北アルプス	二百名山 霞沢岳に登る	小屋泊	2	3B	秋山	
31	8月	荒川三山	南アルプス	南部南アルプス	小屋泊	3	3B	矢野貞	
32	8月	月山	出羽山地	出羽三山主峰、花の百名山	小屋泊	1	2B	石塚	
33	9月	磐梯山	会津	何時かは登りたい	日帰り		2A	松下	

NO	月	山 名	山 域	目 的	形 式	泊数	G	L	企画 / 提案
34	9月	栗駒山	奥羽山脈	紅葉	山麓泊	1	1A	土田	吉川
35	9月	涸沢	北アルプス	涸沢カールの北アルプスの紅葉	小屋泊	2	2B	深草	
36	9月	北ハケ岳	ハケ岳	白駒池周辺の紅葉とコケの森	小屋泊	1	1A	高橋芳	中村八
37	10月	越後駒ヶ岳	越後	紅葉と温泉	小屋or 山麓	1	2B	佐藤清	
38	10月	浅草岳	越後	紅葉の山	山麓泊	1	2B	北田	
39	10月	鼻曲山	上州	紅葉	日帰り		2A	矢野裕	
40	10月	三峰～霧藻ヶ峰～ 白岩山	奥秩父	樹林帯を歩く	日帰り		1A	新谷	
41	10月	雨飾山	頸城	女神に会いに山に行く	山麓泊	1	2B	藤家	
42	10月	信濃トレイル5. 6	信越	ブナの紅葉	山麓泊	1	2B	矢野貞	
43	11月	立山	北アルプス	新雪の立山を満喫する	室堂泊	2	2C	白崎	
44	11月	どんぐり散歩	我孫子・柏	身近な里山で自然観察	日帰り		1A	小野	
45	11月	高川山	中央線沿線	秀麗富士 12 景の富士の 一つ	日帰り		1A	矢野朝	
46	11月	手賀沼クリーンハイ ク	我孫子・柏	労山クリーンハイク活動	日帰り		1A	自然保護委員	
47	11月	笹尾根	奥多摩	紅葉の尾根歩き	日帰り		2B	本田	
48	11月	南高尾山稜	中央線沿線	冬の陽だまり山行	日帰り		1A	桐生	一氏
49	12月	未定	--	忘年山行	日帰り		1A	蟹江・佐藤清	
50	12月	明神ヶ岳	箱根		日帰り		2B	土田	
51	12月	宝剣岳・木曽駒ヶ岳	中央アルプ ス	雪山登山	テント泊 OR	1	2C	小林隆	
52	1月	房総半島の山	房総	県連 ロングハイク	山麓泊	1	1A	県連ハイキング委	
53	1月	伊予ヶ岳・富山	房総	ミニ鋭鋒と「八犬伝」ゆかりの 名山	日帰り		1A	小島徹	
54	1月	北ハケ岳	ハケ岳	雪の北ハケ岳	小屋泊	1	2C	村越	
55	2月	宝登山	秩父	蠟梅を見る	日帰り		1A	本田	飯塚
56	2月	未定		新人卒業山行	日帰り		1A	大平	

令和4年度(第27期) 予算

1. 一般会計

区 分		令和3年度 予算	令和3年度 実績	令和4年度 予算	増 減	備 考
収入の部	前年度繰越金	397,371	397,371	557,098	△ 159,727	
	会費入会金					
	会費	450,000	492,750	450,000	0	9000×50名
	会友	10,000	30,000	10,000	0	5000×2名
	入会金	0	18,000	0	0	3000×0名
	小計	460,000	540,750	460,000	0	
	その他収入					
	ゲスト参加費	0	3,000	0	0	
	山行剰余金	0	0	0	0	
	その他	0	4	0	0	一般会計利息
	小計	0	3,004	0	0	
	積立取り崩し額(やまなみ分)	100,000	100,000	0	100,000	
	(記念行事分)	180,000	180,000	0	180,000	
	(共同装備分)	50,000	50,000	0	50,000	
	収入合計	1,137,371	1,271,125	1,017,098	120,273	
支出の部	運営費					
	会場使用料	21,000	22,000	43,000	△ 22,000	ZOOM→対面方式
	ZOOM利用料	21,000	0	12,000	9,000	都度利用
	総会費	33,000	24,838	38,000	△ 5,000	※
	募集広告費	3,000	0	3,000	0	
	ゲスト保険代振込手数料	0	-1,836	3,000	△ 3,000	
	事務費・雑費等	3,000	130	3,000	0	
	小計	81,000	45,132	102,000	△ 21,000	
	会報費					
	やまたん発行・送送料	0	0	0	0	
	やまなみ発行・送送料	200,000	173,410	0	200,000	隔年
	ホームページ回線利用料	19,000	18,600	20,000	△ 1,000	
	小計	219,000	192,010	20,000	199,000	
	25周年イベント	180,000	180,000	0	180,000	
	行事費					
	行事山行(新人歓迎・忘年山行)	30,000	0	100,000	△ 70,000	※
	公開登山	12,000	0	12,000	0	下見代実費
	教育研修費	20,000	18,200	48,000	△ 28,000	安全セミナー等参加を含む
	小計	242,000	198,200	160,000	82,000	
	装備費					
	山行装備購入費	0	44,972	-	0	積立金で対応
	装備補修・消耗品費	20,000	2,896	20,000	0	
	小計	20,000	47,868	20,000	0	
	県連					
	連盟費分担金	190,000	176,817	200,000	△ 10,000	3600*(52+1)+振込手数料
	総会交通費	10,000	4,000	10,000	0	2,000円×5名
	小計	200,000	180,817	210,000	△ 10,000	
	予備費	20,000	0	50,000	△ 30,000	※
	積立金					
	記念行事	30,000	30,000	30,000	0	30周年イベント用
	遭難対策費	0	0	0	0	R2～積立中断中
	やまなみ発行	0	0	100,000	△ 100,000	隔年
	共同装備品	20,000	20,000	20,000	0	
	小計	50,000	50,000	150,000	△ 100,000	
	支出合計	832,000	714,027	712,000	120,000	
次年度繰越金		305,371	557,098	305,098	△ 252,000	

※ R2,3年度行事山行等中止に伴う充実

2. 積立会計

令和4年2月28日現在

区 分		令和2年度繰越金	令和3年度実績		令和4年度予算	
		残高	繰入・取崩(△)	残高	繰入・取崩(△)	残高
合計		719,355	△ 279,995	439,360	150,000	589,360
内 訳	記念行事	182,575	△ 150,000	32,575	30,000	62,575
	遭難対策	346,634	0	346,634	0	346,634
	やまなみ積立	100,000	△ 100,000	0	100,000	100,000
	共同装備品	90,000	△ 30,000	60,000	20,000	80,000
	寄付金・利息	146	5	151	0	151

会 則 (改正案)

第1条 総 則

- 1 この会は、岳人あびこと呼ぶ。
- 2 この会は、千葉県勤労者山岳連盟を通じて、日本勤労者山岳連盟（略称「労山」）に加入する。
- 3 この会は、活動の拠点を中心に千葉県東葛地区とし、その事務局を会長宅に置く。

第2条 目 的

この会は、安全登山を基礎に、一人ひとりの好みと能力に応じた楽しい登山を目指し、自然との関わりを通して仲間との親しみを育むと同時に豊かで質の高い登山を目指すことを目的とする。

会員は日々の研鑽を通じて、他人に頼らない自立した登山者を目指すものとする。

第3条 活 動

この会は、前条の目的を達成するために、会員(準会員・会友を含む。以下同じ)自身の運営により次の活動を行う。

- (1) 定例山行およびそれに準ずる山行
- (2) 総会および定例集会
- (3) 会報の発行
- (4) その他この会の目的を達成するための活動。

第4条 会 員

- 1 会員はこの会の目的に賛同し、山行への参加、総会・定例集会への出席、その他前条に定める会活動に積極的に貢献しなければならない。
- 2 会員は、別に定める会費を納入するものとする。いったん納入した会費はこれを返還しない。
- 3 入会しようとする者は、その旨申し込み、運営委員会の承認を受けなければならない。ただし、新入会員は2回の山行まで準会員とし、運営委員会の承認により、会員となることができる。
- 4 会員は、次の理由により資格を喪失する。
 - (1) 退会
 - (2) 死亡
- 5 会員が次の事項に該当するときは、運営委員会の決議によりこれを退会勧告することができる。退会勧告を行った場合には、遅滞なく、会報<やまたん>および定例集会を通じて会員に報告する。
 - (1) この会が主催する山行、集会、行事等への参加に、著しく情熱を失った者。
 - (2) 会費を所定の期日までに未納の者。
 - (3) 無届山行の結果この会の名誉を傷つけた者、もしくは、会則、山行規定などに定める趣旨に反し、この会の統制や団結を著しく乱す行為のあった者。

第5条 会 友

この会に3年以上会員であった者で、転居等特別の理由により常時、会の活動に参加が困難な者については、本人の申し出と運営委員会の承認により会友となることができる。

第6条 組 織

- 1 会 長 この会を代表する。
- 2 副会長 会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 事務局として総務部、会計部、会報部、装備部を置く。

総務部	各部に属さない事項全般
会計部	金銭に関する事項全般
会報部	広報に関する事項全般
装備部	装備に関する事項全般

4 山行部

- (1) 山行に関する計画立案、実行、管理。
- (2) 新人研修、リーダー研修による会員の安全確保とレベルアップ。
- (3) 山行中の事故に対する遭難対策（救助活動、緊急連絡体制確立など）

5 県連理事、専門委員 連盟の会議に出席し、会活動に反映。

6 監 事 会計の監査

第7条 機 関

この会に次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 運営委員会
- (3) 山行部会議
- (4) 定例集会

第8条 総 会

1 総会は、この会の最高決定機関である。

(1) 通常総会

通常総会は、毎年1回会計年度終了後1ヶ月以内に会長が召集する。

(2) 臨時総会

運営委員会の要請により会長が必要と認めたとき、いつでも召集できる。会員の半数以上の要請があった場合開催することができる。

2 次の事項は、総会に提出して承認を受けなければならない。

- (1) 活動報告および方針と活動計画
- (2) 収支決算および予算
- (3) 役員およびリーダーの選出
- (4) 諸規定の改廃
- (5) その他運営委員会またはリーダー会議において必要と認めたもの

3 総会は会員の半数以上の出席または委任状の提出をもって成立し、総会の議事は委任状を含む出席者の過半数をもって決し、同数のときは議長の決するところによる。

4 議長および書記は、出席者の互選による。

第9条 運営委員会

1 運営委員会は総会で選出された役員で構成し、総会で決定された方針に基づく会務、および、この規定などに定められた運営委員会決議承認事項につき、審議を行う。

2 運営委員会は総務部長がこれを召集する。議長は総務部長がこれに当たる。書記は議長が指名する。

3 審議の内容については、会報〈やまたん〉および定例集会を通じて会員に報告する。

第10条 山行部会議

1 山行部会議は総会で選出されたリーダーで構成し、会山行に関する計画立案、実行、管理、および、この規定などに定められた山行部会議決議承認事項につき、審議を行う。

2 山行部会議は山行部部長がこれを召集する。議長は山行部部長がこれに当たる。書記は議長が指名する。

3 審議の内容については、会報〈やまたん〉および定例集会を通じて会員に報告する。

4 山行部会議は運営委員会と合同で行うことを妨げない。

第11条 定例集会

1 毎月、会員全員を対象に集会を行う。

2 内 容

- (1) 山行企画および山行報告
- (2) 運営委員会報告、山行部会議報告およびその他各部報告
- (3) 山行申し込み

(4) 教育研修の実施

(5) 意見交換その他

第12条 役員・監事およびリーダー

1 この会に次の役員および監事を置く。必要に応じて副部長を置くことができる。

- | | |
|-----------|----|
| (1) 会 長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 2名 |
| (3) 総務部長 | 1名 |
| (4) 会計部長 | 1名 |
| (5) 会報部長 | 1名 |
| (6) 装備部長 | 1名 |
| (7) 山行部部長 | 1名 |
| (8) 県連理事 | 1名 |
| (9) 監 事 | 2名 |

役員および監事は総会で選出し、任期は2年とし再任を妨げない。補欠役員および監事の選出は運営委員会で行う。その任期は前任者の残任期間とする。

2 この会に山行活動上必要なリーダーを置く。

リーダーは総会で選出し、任期は2年とし再任を妨げない。

第13条 会 計

1 この会の会費等は次のとおりとする。

- | | | | |
|------------|-----|----|-----------------|
| (1) 入会金 | | | 3,000円 |
| (2) 会 費 | 会 員 | 月額 | 750円 (年額9,000円) |
| | 準会員 | 月額 | 750円 (年額9,000円) |
| | 会 友 | 年額 | 5,000円 |
| (3) 労山遭対基金 | 2口 | 年額 | 2,000円以上 |

2 会計年度は3月1日より2月末日までとする。

3 一般会計の他に、必要に応じ積立金および基金を設けることができる。

第14条 会 報

1 会報〈やまたん〉の発行（月刊、定例集会の1週間前）

2 山行文集〈やまなみ〉の発行

3 E-mail、ホームページの管理

第15条 山行規定

山行に際しては、別に定める山行規定に従うものとする。

第16条 弔慰金・見舞金

会員の死亡・負傷に対し、弔慰金・見舞金を次のとおり贈呈する。

弔慰金	会山行時の事故による死亡	50千円
	上記以外による死亡（注1）	20千円
見舞金	会山行時の事故による負傷（注2）	10千円

（注1）会友は対象外。

（注2）入院3週間以上を要する負傷

第17条 会則の改廃

会則の改廃は、総会の過半数の承認を要するものとする。

この会則は、1996年10月10日より施行する。

1998年4月5日改正

1999年4月4日改定

2001年3月4日改定
2003年3月9日改定
2009年3月8日改定
2013年12月5日改定
2015年3月1日改定

1. 体制

下記の担当で対応する。

項目	担当	担当者
県連役員	副会計	外崎 蓮
県連理事会	理事	深草茂美
県連ハイキング委員会	ハイキング委員	小島 洋子
自然保護	手賀沼クリーンハイク	小野 泰子
労山基金	岳人あびこ基金担当	一氏照美、斎田記代美
労山カレンダー	岳人あびこ購入窓口	飯塚秀子、川村あき子

2. 活動方針

労山・県連加盟を当会の活動にとって意義あるものとする。

3. 活動計画

1) 交流山行参加

下記の山行に参加予定。

- ・6月中旬 ハイキング委員会主催 ウィークデー山行（房総海岸線を歩く）
- ・1月下旬 ハイキング委員会主催 房総ロングハイク
- ・県連加盟団体が主催する交流山行（県連検討中、決まり次第「準定例山行」として案内）

2) 交流会参加

下記の交流会に参加予定。他交流会は会員に適時案内し参加促進を計る。

- ・県連主催 事故防止経験交流集会
- ・労山主催 全国ハイキング活動者会議

3) 講習会参加

労山・県連開催の実技講習会、Z o o m講習会を会員に適時案内し参加促進を計る。

4) 文書・写真投稿

文書投稿 ちばニュースに2件（3月、8月）

その他文書・写真の投稿を適時案内し投稿促進を計る。

5) 自然保護

手賀沼クリーンハイク（11月）

6) 労山基金

燧ヶ岳骨折事故交付金請求処理（3月以降に請求）

その他、基金交付金対象事故発生時は適時処理する。

7) 労山カレンダー

募集10月 配布12月